

図書だより No.1 2020年 4・5月



今年もよろしくお願いします！

図書室支援員の宮原綾乃です。読みたい本が見つからない時や、探している本が見つからない時にはお手伝いしますので、声を掛けてください。
今でしか感じる事ができない心で、たくさんの本と出会ってください。
今年もたくさんのリクエストをお待ちしています。

☆☆利用案内☆☆

今年度は利用方法が変更になりました。

職員室前と図書室入り口の掲示板をよく確認して利用してください。→

月	火	水	木・金
3年生	2年生	1年生	今週来られなかった人

- *入室の際にはアルコール消毒をお願いします。
- *人数が多い場合には入室制限を行います。
- *利用は貸出・返却のみで、学習や読書はできません。
- *今後変更になることもあります。

開館時間 昼休み
貸出冊数 1人2冊まで
貸出期間 1週間



《青少年読書感想文全国コンクール 課題図書を紹介》



『天使のにもつ』 いたうみく著／童心社

中学2年生、斗羽風汰が職場体験先に選んだのは、保育園だった。5日間の職場体験の物語。



『11番目の取引』アリッサ・リツァ スワース著／鈴木出版

アフガニスタン難民のサミと祖父の生きる術であり、心の拠り所だった伝統楽器ルバブが奪われた。買い戻すには1ヶ月以内に700ドルが必要だ。サミは友達の助けを借りて自分の持ち物で物々交換を始める。希望と友情の物語。



『平和のバトン 広島の高中生たちが描いた8月6日の記憶』

弓狩匡純著／くもん出版

被爆証言者の記憶を、美術を学ぶ高校生が絵にして記録する「次世代と描く原爆の絵」プロジェクト。平和な広島で今を生きる高校生たちが戦争や原爆を見つめ直していくさまを綿密に取材して描いた、平和について考えるノンフィクション。

2020年本屋大賞決定！

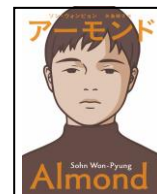
大賞



『流浪の月』 岡良ゆう著／東京創元社

再会すべきではなかったかもしれない男女がもう一度出会ったとき、運命は周囲の人間を巻き込みながら疾走を始める。
新しい人間関係への旅立ちを描き、実力派作家が遺憾なく本領を発揮した、息をのむ小説。

翻訳小説部門1位



『アーモンド』 ソン ウンピョン著／祥伝社

扁桃体(アーモンド)が人より小さく、怒りや恐怖を感じることができない高校生、コンジェ。15歳の誕生日に、目の前で祖母と母が通り魔に襲われたときも、無表情でその光景を見つめているだけだった。そんな彼の前に、もうひとりの“怪物”が現れて…。



★過去に本屋大賞にノミネートされた作品を紹介します★

- | | |
|----------------|-------|
| 『コーヒーが冷めないうちに』 | 川口俊和 |
| 『博士の愛した数式』 | 小川洋子 |
| 『4 TEEN』 | 石田衣良 |
| 『図書館戦争』 | 有川浩 |
| 『ツバキ文具店』 | 小川糸 |
| 『かがみの孤城』 | 辻村深月 |
| 『コンビニ人間』 | 村田沙耶香 |
| 『蜜蜂と遠雷』 | 恩田陸 |
| 『崩れる脳を抱きしめて』 | 知念実希人 |
| 『君の臓腑を食いたい』 | 住野よる |
| 『ハケンアニメ』 | 辻村深月 |
| 『告白』 | 湊かなえ |



あなたなら、どの本を読んでみたいですか？

図書室に**文豪クイズ**を作りました！！
『わたしは誰でしょう？』
学校が再開したら、ぜひ挑戦してね！

Q 問題 『太宰 ○』
「走れ○○○」や「人間○○」が代表作。



図書室入り口ドアにて、
昨年度、下中の皆さんに人気だった本&多読者を発表しています！
是非見に来てください！今年もたくさん読んで入賞を目指そう！！

